

日本画の魅力

The Charm of Japanese-Style Painting

花鳥画・山水画・物語絵などに見る近代日本画の伝統と革新



水谷愛子《臥龍梅》1997年、紙本彩色、169.4×214.6 cm

2019年8月31日(土)~9月29日(日)

開館時間：10:00~17:00 (入館は16:30まで) **休館日：火曜日**
入館料：一般 300円(240円)・高校生 180円(140円)・小中生 120円(90円)

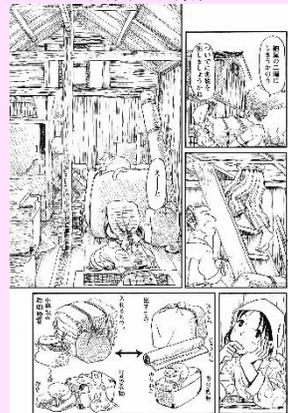
※()内は20名以上の団体料金。広島中央地域連携中枢都市圏(呉市、竹原市、東広島市、江田島市、海田町、熊野町、坂町、大崎上島町)に在住の高校生以下、呉市在住の70歳以上の方、はたちのパスポート・障害者手帳等をお持ちの方は無料(要証明書)。くれフレンドリー(友の会)会員証をお持ちの方は団体料金でご入館いただけます。

呉市立美術館

KURE MUNICIPAL MUSEUM OF ART

〒737-0028 呉市幸町入船山公園内
Tel (0823) 25-2007 Fax (0823) 24-9813
<http://www.kure-bi.jp/> [✉kure-bi@abeam.ocn.ne.jp](mailto:kure-bi@abeam.ocn.ne.jp)

©この史代・双葉社



■併設展示■
この史代『この世界の片隅に』
マンガ原画コーナー

「第17回 19年10月」より

日本画は、描画材料として、膠（にかわ、動物の骨や皮から抽出した蛋白質）で溶いた岩絵具（鉱物を砕いた顔料）や、墨を主に用いる画法で、千数百年前に中国から伝えられました。中国絵画に学びながら、日本の風土、歴史、文化の中で、狩野派（漢画系）、土佐派（大和絵系）、円山・四条派（写生派）などの諸流派が形成され、表現力豊かな運筆や、陰影を昇華した清澄な色彩により、写意（外面の写実でなく本質の表現）を重んじる、精神性と装飾性に富む絵画世界が創出されました。

ところで、「日本画」という言葉は、西洋絵画に対置する呼称として、明治以後に在来絵画の諸流派を統合して用いられるようになったものです。以来、新たな近代絵画としての道を歩み始めることになった日本画は、その伝統と特有の画材・技法に立脚しつつ、西洋の画法や美術思潮を取り入れながら、独自の表現が追求され、時代に即して変容と発展を遂げてきました。

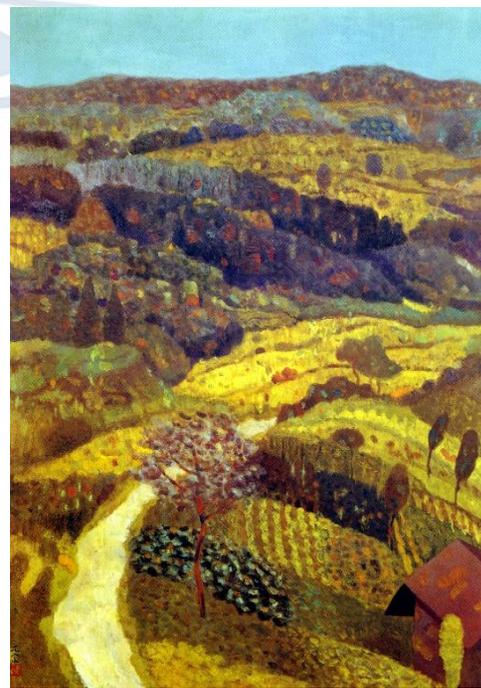
本展では、池田栄廣、奥田元宋、工藤甲人、児玉希望、後藤純男、小松均、谷口仙花、手島呉東、平山郁夫、船田玉樹、益井三重子、水谷愛子、森田曠平、山中雪人ほかによる、新収蔵作品を含む館蔵品 40 点余りにより、多彩な展開を遂げた近代日本画の魅力をお楽しみいただきます。

あわせて、この史代『この世界の片隅に』マンガ原画から「第 15 回 19 年 9 月」「第 17 回 19 年 10 月」を併設展示いたします。

[上段左から]

- 後藤純男《春麗大和》1993 年 紙本彩色 112.0×162.0 cm
- 谷口仙花《レースのショール》1939-55 年 絹本彩色 145.9×50.3 cm
- 奥田元宋《晴曠》1958 年 紙本彩色、155.5×110.2 cm
- [中段] 森田曠平《善知鳥》1980 年 紙本彩色 四曲一双 各 120.0×231.2 cm
- [下段] 船田玉樹《安芸の二絨氈（青）》1961 年 紙本彩色 91.1×60.7 cm

※ 都合により展示作品を変更する場合があります。



関連イベント ※ 最新情報は当館ホームページでご確認ください。

■ **ワークショップ「日本画を体験」** ※要事前申込
 展示作品を手本に、本格的な日本画の画材・技法により模写を行います。
 講師：大庭孝文（広島市立大学非常勤助教、創画会 会友）
 浅埜水貴（広島市立大学実習補助員、日本美術院 院友）
 日時：9月16日（月・祝）13：00～16：00
 定員：20名 参加費：1000円
 対象：高校生以上 会場：当館地下講座室
 申込方法：当館 HP (<http://www.kure-bi.jp/>) の申込専用フォームまたはお電話（当館 0823-25-2007）で8月31日（土）までにお申し込みください。申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

■ **館長講座「直伝、日本画の楽しみ方」** ※申込不要
 当館館長が、日本画の一步踏み込んだ楽しみ方を直伝します。
 講師：横山勝彦（呉市立美術館 館長）
 日時：9月1日（日）13：30～15：00
 会場：当館地下講座室 定員：50名（先着順）

■ **ギャラリートーク**
 ※申込不要、要入館料
 展示の見所を学芸員が解説します。（40分程度）
 日時：9月7日（土）、9月21日（土）各日 14：00～

